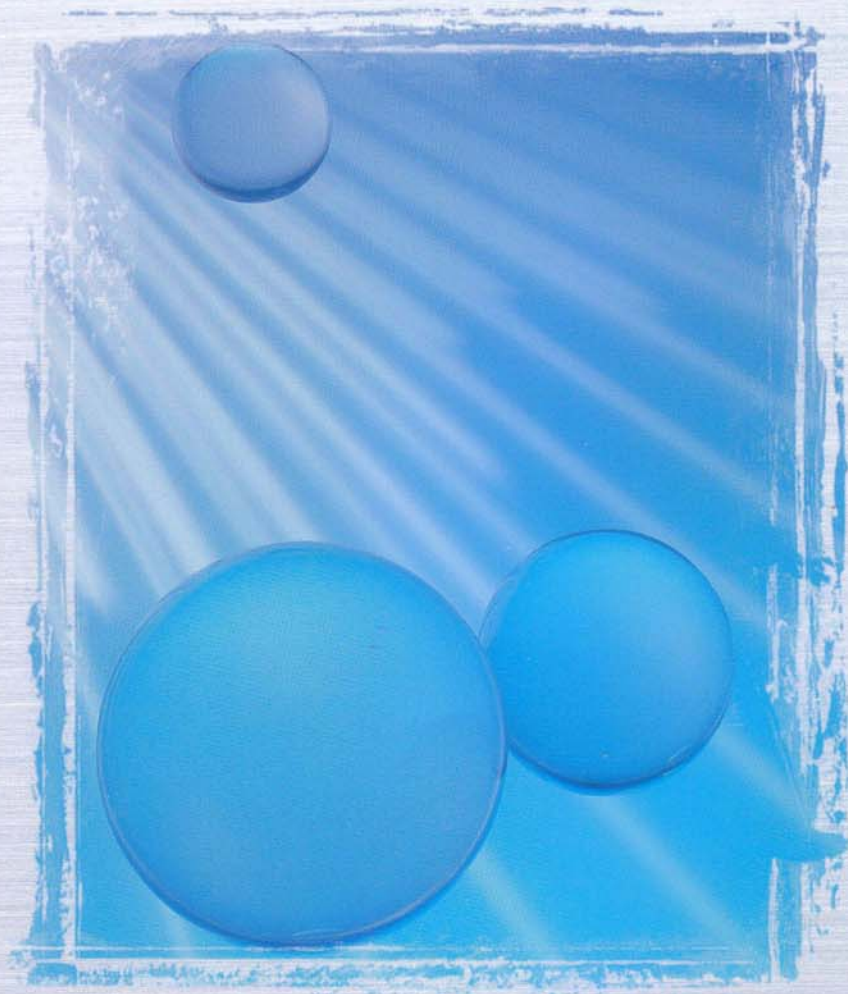


特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン



水系エポキシ樹脂配合・複合塗膜防水材

エポミック 7000



エレホン・化成工業株式会社

EREWHON

エポミックス7000

水系エポキシ樹脂配合、複合塗膜防水材

エポミックス7000はセメント系微粒子粉体に水系エポキシ樹脂及びアクリル系高分子エマルジョンとを組み合わせた**画期的複合塗膜防水材**です。エポキシ樹脂の持つ耐水性及び接着性能、またアクリルエマルジョンの特殊造膜による防水効果により高水圧（70メートル水圧）においても優れた防水性能を示すと共に、これまで困難とされてきた**背面防水にも効果を発揮し、背水圧による膨れや剥離がありません。**

特 徴

- アクリル系、EVA系エマルジョンを配合した塗膜防水材に見られる水中での再乳化による接着力の低下がないために、膨れや剥離を生じません。
- エポキシ-アクリル複合エマルジョンの使用により、優れた防水性能、耐薬品性及び耐海水性を有しています。
- ライトグレーに調色された緻密で滑らかな塗膜は、新設コンクリートの風合いを損なうことなく、美観的にも優れています。
- 水系で、湿潤面への施工も可能で地下構造物の内外界等の防水、また有機溶剤が含まれていないので閉所での使用においても溶剤障害がありません。



荷 姿

品 名	規 格	内 容
エポミックス7000	14kgセット	パウダー 10kg袋 ※主 剤 3kgポリ容器 ※硬化剤 1kgポリ容器
EM混和液 (プライマー用)	4kgセット	※主 剤 3kgポリ容器 ※硬化剤 1kgポリ容器

※エポミックス7000の主剤、硬化剤とEM混和液の主剤、硬化剤は同じ物です。



地下構造物防水



防火水槽防水



コンクリート保護防水及び美装

用途

水槽防水

貯水槽、防火水槽、水路、下水道処理現場槽、浄化槽、木コン、打継ぎ処理

地下防水

地下壁、シールド、共同溝内壁、ボックスカルバートジョイント、地下室、地下ガレージ、ピット、エレベーターピット

止水補修

Vカット止水等の上塗り防水として
コンクリート構造物の改修補修の保護防水

使用方法

■配合

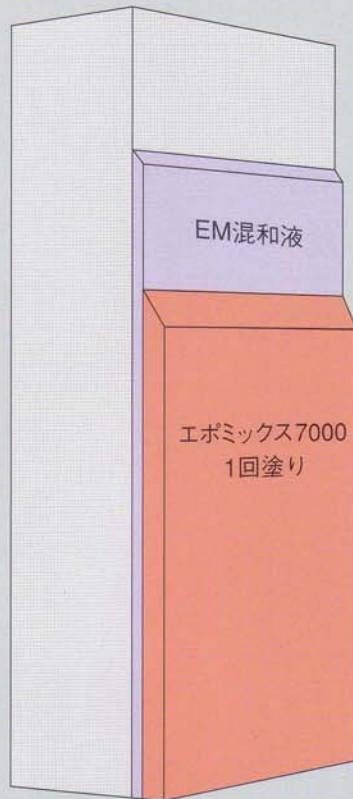
品名	品目	配合			
エポミックス 7000	ライニング用	パウダー 10kg	+ 主剤 3kg	+ 硬化剤 1kg	+ 水 0.5~1.0kg
EM混和液	プライマー用		主剤 3kg	+ 硬化剤 1kg	+ 水 4kg

■施工方法

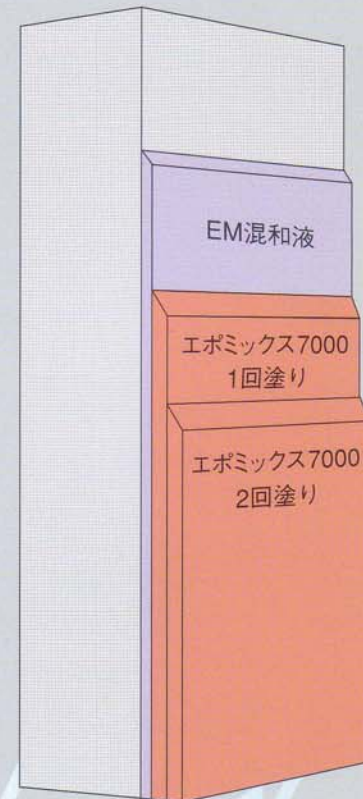
- ①下地を洗浄し、埃、レイタンス、エフロ等を除去する。
- ②下地乾燥後、プライマー配合したEM混和液をハケ、ローラー等で塗布する。
塗布量：0.2kg/m²（水希釈液） 積算使用量：正味0.1kg/m²
- ③EM混和液塗布後、最低1時間放置して、エポミックス7000を塗り付ける。
塗布量：EM-1工法 1.7kg/m²（1mm厚）
EM-2工法 1.25kg×2回塗＝2.5kg/m²（1.5mm厚）

工 法

■EM-1工法



■EM-2工法



■使用量

《EM-1工法》

EM混和液（水希釈液）…0.2kg/m²
（積算使用量0.1kg/m²）
エポミックス7000 …1.7kg/m²
（1回塗り）

《EM-2工法》

EM混和液（水希釈液）…0.2kg/m²
（積算使用量0.1kg/m²）
エポミックス7000 …1.25kg/m²×2回
（2回塗り）

性能

■ 透水試験

試験水圧	透水量 (g)		
	普通モルタル	EM-1工法	EM-2工法
0.3MPa	78.0	0.8	0.2
0.7MPa	131.6	2.0	0.6

※EM-1工法：普通モルタル試験体にエポミック7000を1mm厚で塗布。

※EM-2工法：
1.5mm厚で塗布。
(2回塗)

■ 接着力試験

下地	塗布条件	接着強度 (N/mm ²)
コンクリート	乾燥	2.81
	湿潤	2.48
エポキシ塗膜	乾燥	2.96
スレート板	乾燥	1.04
珪カル板	乾燥	0.57

※：下地破壊

■ 耐薬品性

浸漬液体名	状態	判定
水道水	異常なし	○
工業用水	異常なし	○
海水	異常なし	○
硫酸 (3%液)	石膏生成	×
苛性ソーダ (3%液)	異常なし	○

※：浸漬日数 1ヶ月

成分

■パウダー

成分	組成(%)
SiO ₂	59.5
Al ₂ O ₃	6.2
CaO	25.9
MgO	1.6
Fe ₂ O ₃	0.9
TiO ₂	2.1
SO ₃	0.8
R ₂ O	1.4
ig.loss	0.9
TOTAL	99.6

■混和液

項目	主 剤	硬 化 剤
主 成 分	アクリルーエポキシ	変性脂肪族ポリアミン
不揮発分	48%	20%
水 分	50%	79%
そ の 他	2%	1%

使用上の注意事項

- 本製品は強アルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こす事がありますので、直接皮膚に触れたり、目に入れたり、飲み込んだりすることの無い様ご注意ください。
- 作業時には、防塵眼鏡、防塵マスク、保護手袋を必ず着用して下さい。
- 万一目に入った場合は速やかに多量の清水で洗浄し、直ちに専門医の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は清水で十分にうがいをして下さい。混和液を飲み込んだ場合は直ちに専門医の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は石鹸水等を使用し十分に洗い落として下さい。
- 閉所で使用する場合は換気を十分に行ってください。

特殊セメントの分野を大きくリードする



エレホン・化成工業株式会社

EREWHON

<http://www.erewhon.co.jp/>

本 社 ・ 工 場 〒870-0141
 大 阪 支 店 〒564-0063
 福 岡 支 店 〒814-0151
 関 東 ・ 東 支 店 〒340-0055
 仙 台 支 店 〒984-0012
 名 古 屋 支 店 〒463-0048
 いわき営業所・工場 〒979-3112
 関 東 ・ 北 営 業 所 〒322-0052
 関 東 ・ 西 営 業 所 〒224-0064
 広 島 営 業 所 〒739-1731
 熊 本 営 業 所 〒861-8045
 鹿 児 島 営 業 所 〒890-0082
 新 潟 営 業 所 〒950-0925
 札 幌 営 業 所 〒007-0805
 株式会社
 松 山 営 業 所 〒781-0270
 〒791-8042

大 分 県 大 分 市 三 川 新 町 1-2-23
 大 阪 府 吹 田 市 江 坂 町 2-12-50
 福 岡 県 福 岡 市 城 南 区 堤 1-9-10
 埼 玉 県 草 加 市 清 門 町 248-3
 宮 城 県 仙 台 市 若 林 区 六 丁 の 目 中 町 6-2
 愛 知 県 名 古 屋 市 守 山 区 小 幡 南 3-5-21
 福 島 県 い わ き 市 小 川 町 上 平 字 中 平 30-3
 栃 木 県 鹿 沼 市 銀 座 1-1276
 神 奈 川 県 横 浜 市 都 筑 区 平 台 19-24
 広 島 県 広 島 市 安 佐 北 区 落 合 2 丁 目 41-22
 熊 本 県 熊 本 市 小 山 2-14-47
 鹿 児 島 県 鹿 児 島 市 紫 原 1-51-25
 新 潟 県 新 潟 市 中 央 区 井 天 橋 通 3-1-31
 北 海 道 札 幌 市 東 区 東 苗 穂 5 条 3-2-32
 高 知 県 高 知 市 長 浜 19-3
 愛 媛 県 松 山 市 南 吉 田 町 1408-1

TEL(097)552-2251 FAX(097)552-2213
 TEL(06)6388-6585 FAX(06)6388-6561
 TEL(092)874-6990 FAX(092)862-6398
 TEL(048)951-1987 FAX(048)951-1988
 TEL(022)287-7221 FAX(022)287-7222
 TEL(052)758-1889 FAX(052)758-1890
 TEL(0246)83-2600 FAX(0246)83-2677
 TEL(050)3344-4646 FAX(0289)64-0106
 TEL(045)306-6200 FAX(045)949-2015
 TEL(082)841-2350 FAX(082)841-2360
 TEL(050)3399-7419 FAX(096)388-6227
 TEL(099)284-0533 FAX(099)284-0535
 TEL(025)286-6260 FAX(025)286-6263
 TEL(011)786-6051 FAX(011)786-6052
 TEL(088)805-2332 FAX(088)841-2322
 TEL(089)974-8225 FAX(089)974-8230